

発達障害の特性を持つ妊産婦への支援【前編】

困難を理解するために

特別企画
special article

「産後うつ」と診断されたある女性

先天性の疾患のある女兒，葵ちゃん（仮名）を出産後，産後うつとの診断と共に，育児支援外来に紹介されてきた沙織さん（仮名）。担当看護師は，うつ病だという沙織さんの気持ちに配慮しつつ，葵ちゃんに必要な医療的ケアについて丁寧に説明しました。ところが，何回説明をしても，沙織さんは葵ちゃんのお世話がうまくできず，家庭では毎日のようにパニック状態だと言います。

外来で見る限りでは，必要な医療的ケアの手技には問題はなさそうです。葵ちゃんは先天性疾患こそあるものの，穏やかで育てやすい子です。今のところ発達の問題もなく，一般的なお世話で対応できる赤ちゃんでした。

沙織さんは，特定の医療的ケアの手順には完璧にこだわる一方，葵ちゃんに対する，いわゆる普通の子育てについての理解ができていないように見えました。あやしたり，話しかけたり，遊んだりというような，葵ちゃんとの自然な交流も見られません。担当看護師は，初めはうつ病のためだと理解していましたが，どこか変だと感じるようになりました。

沙織さんは，予約時間に遅れることもたびたびありました。さらに各回の外来では，話の順序や話題が整理されず，その日に予定していた内容が扱いきれません。また，家の中が片付けられず足の踏み場のない状態であることや，食事の準備ができないので，夫が仕事帰りに

元・こころの診療科 **きたむら醫院** 看護師
城西国際大学 看護学部 教授
北村メンタルヘルス研究所
客員研究員 **大橋優紀子**



おおはし・ゆきこ ●看護臨床での心理援助の必要性を感じて学ぼううちに，臨床発達心理士，公認心理師資格を取得。主な専門は母子の関係性とそれへの支援。

こころの診療科 **きたむら醫院** 助産師
訪問看護ステーション **co-co-ro** 助産師
北村メンタルヘルス研究所 研究員
日本赤十字看護大学 **羽田彩子**



はだ・あやこ ●臨床で助産師として働く中で，心理支援の重要性を痛感し，大学院に進学。現在，こころの診療科きたむら醫院，訪問看護ステーション **co-co-ro** でこころのケアにあたる。

訪問看護ステーション **co-co-ro**
管理者／看護師／助産師
北村メンタルヘルス研究所
客員研究員 **山岸由紀子**



やまがし・ゆきこ ●養育支援訪問をきっかけに，地域母子保健・児童福祉領域で活動。本年8月から周産期メンタルヘルスケアを中心とした訪問看護活動を開始。特別養子縁組支援にも携わる。

こころの診療科 **きたむら醫院** 院長
北村メンタルヘルス研究所 所長
北村メンタルヘルス学術振興財団
代表理事 **北村俊則**



きたむら・としのり ●精神科医。人の心は脳がなければ存在しない。しかし，「脳の研究では解らない心の部分」を癒すのが精神科医療であると考えている。

買ってくる1日1食のお弁当が頼りであることなども分かりました。

沙織さんが、日常生活でやるべきことをやれなくなってきたのは妊娠中からだったようです。そして、産後になり気分の落ち込みを訴えたために、産後うつと診断された経緯が明らかになりました。

* * *

この事例の沙織さんが抱えている困難は、「産後うつ」だけで説明できるのでしょうか。沙織さんは、確かに自信のなさや気持ちの落ち込みを訴えています。楽しいことを考えようとしても思いつかない状態でしょうから、産後うつのスクリーニング基準には該当すると言えるでしょう。

しかし、経過を確認すると別の問題もありそうです。周産期の心理的問題を訴える人の中には、背景に主訴とは全く別の問題を抱えている人が少なくありません。本人ではなく、配偶者や家族に問題があることもあります。

本稿では、周産期の心理的問題の背景要因の一つになり得る発達障害について、その特性を持つ妊産婦の困難を、事例を紹介しながら述べていきます。

発達障害とは

「発達障害」とは一つの診断名ではなく、発達障害と分類される障害の総称です。つまり、単に「発達障害」というだけではなく、より正確に理解しようとする必要があります。

発達障害者支援法によると、発達障害とは「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして

政令で定めるもの」¹⁾とされています。このうち、「広汎性発達障害 (Pervasive Developmental Disorder : PPD)」は、Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders : DSM-5²⁾以降、「自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder : ASD)」という診断名が用いられるようになりました。また、従来の「注意欠陥多動性障害」については「注意欠如・多動性障害 (Attention-Deficit Hyperactivity Disorder : ADHD)」という訳語が、「学習障害」は「限局性学習障害 (Specific Learning Disorder : LD)」という訳語が定着してきています³⁾。

◆自閉症スペクトラム障害

自閉症スペクトラム障害は、①他人と社会的な場面で相互関係を持つことの障害、②言葉の表面的な意味にとらわれやすいといったコミュニケーションの質的な障害、③反復的な行動パターンの3つが特徴とされています。

このうち、①と②をコミュニケーションや対人的相互関係の障害としてまとめることもあります。③は、一般的に「強いこだわり」とも言われる部分です。独特な考え方や関心の偏り、独特の行動の繰り返し、自分のやり方への固執のような特徴が示されます。ほかに、音や皮膚刺激に対する過敏さがあったり、独特のものの記憶・想起の仕方をする方もいます。

高機能自閉症、いわゆる従来のアスペルガー症候群は、現在は自閉症スペクトラム障害の連続体の中に含まれて扱われます。

◆注意欠如・多動性障害

不注意と多動性・衝動性によって特徴づけられる発達障害です。成人期のADHD症状では、多動性に比べ、年齢によって影響されにくい不注意症状が中心になり、特にADHD

の女性では、これが目立ちやすいと言われて
います。

◆限局性学習障害

ディスレクシアと呼ばれる読字障害、書字
障害、算数障害などを含みます。全体的な知
能には大きな遅れがないにもかかわらず、ほ
かの能力に比べて不自然に、ある部分の習得
に困難が見られます。

推論が難しい、聞いたことを覚えていられ
ないなど、学習全体にかかわるような問題も
存在します。

* * *

これらの障害がそれぞれに発現することも
あれば、特性を重ね持ち、混じり合っ
て（あるいは関連して）発現することが多いこと
も知られています。こうした特性は小児期に顕
在化し、多くは成人期まで存続します。

知的障害は必ずあるわけではありません。
むしろ、知的には問題はないにもかかわらず、
家庭、学校、社会といった集団場面での
困難が顕著なことが特徴です。

例えばADHDの場合、その特性と関連して、
集中力の低下、忘れっぽさ、無計画さ、自尊
感情の低下などの問題が生じるので、社会生
活がとても困難になるのです。Biedermanら
によれば、ADHDと診断を受けた成人はそ
うでない成人に比べると、高校卒業率、大学
学位取得率、被雇用率が有意に低く、逮捕率
や離婚率は有意に高いことが明らかにされて
います⁴⁾。

また、ADHDが就労に及ぼす影響を調べた
Kesslerらの研究によると、ADHDとアセス
メントされた従業員はそうでない者に比べ、う
つ、慢性疲労症候群、不眠が併存疾患として
見受けられ、病欠や職場での事故やけががオッ

ズ比にして2倍程度大きかったと報告されて
います⁵⁾。

分類や診断定義の詳細はほかの専門誌に譲
り、今回（前編）は、診断の有無に限らず、
こうした特性を抱える妊産婦の困難を理解で
きることを、次回（後編）ではそうした困難
に対して支援できることを目的として解説を
進めます。

発達障害の特性を持つ 妊産婦の困り事～事例に沿って

冒頭の沙織さんは、手順が明確な医療的ケ
アには関心が強い一方、一般的でよいと説明
されると難しいようです。夫の理解やサポ
ートがないわけではありませんが、効率的にう
まい具合にはと言えない状況もうかがえます。

沙織さんの困難を、発達障害の特性から
考えてみると、次のようにアセスメントでき
ます。

- 複数のことを同時に実行するのは難しい。
- やるべき順序や時間のかけ方を、全体とし
て整理、計画することが苦手である。
- 柔軟で臨機応変な対応に困難がある。例え
ば、育児書にある一般的なことを、目の前
の自分と赤ちゃんの状況に当てはめて修正
して実行することは大変難しい。異なる場
面を同じ状況と理解することが不得手で
ある上に、一般的な説明を自分の状況に
応用して実行することも不得手であるよう
である。

例えば、複数のことを同時に実行するこ
とが苦手な沙織さんには、「赤ちゃんに声を掛
けながらおむつを替える」のような何げない
ことでも、一つのこと（おむつを替える）を
しながら、もう一つのこと（声を掛ける）を

するのは至難かもしれません。

また、沙織さんには、「普通の子と同じに」とか、「困ったら誰かを頼りましょう」「疲れたら休んでくださいね」というような、抽象的な助言を繰り返してもあまり有効ではないとも考えられます。「普通の子と同じ」という明確でない説明は、沙織さんには理解しにくいでしょう。そして、「困ったら」とは、いつ・どのような時か、「頼る」とは何を頼ればよいのかと、沙織さんの困難は続きそうです。ともすれば、葵ちゃんのお世話を考えず、言われたとおりに「疲れたから休んだ」なんてことにもなりかねません。

沙織さんのような特性を持つ人から、『赤ちゃんにはたくさん話し掛けましょう』ってどの本にも書いてあります。ところで、何を話しかけたらいいんでしょうか？」と、困った顔で大真面目に聞かれることはよくあります。

それでは、次の2つの事例はどうでしょうか。

事例① 成美さん（34歳、初産婦）

成美さんにとって、初めての妊娠、出産でした。妊娠・分娩経過は母子共に問題なく、退院後は実家で両親からのサポートを受けて育児を行っていました。

しかし、成美さんは母親として「自分がちゃんとできなきゃ」と強く責任を感じる一方で、日々のやるべきことが整理できず、この先もこんな毎日が続くことに不安を感じるようになりました。また、周りの人は自然にできているようなことが、「分からない」とも感じました。

例えば、成美さんは、赤ちゃん（要君）の表情や泣いている理由を理解できず、どう接したらよいのかが自分では全く分かりませ

ん。次第に成美さんは、要君と2人きりでいると恐怖さえ感じるようになりました。

「周りの人は「困ったら相談すればいいんだから」と言ってくれます。でも、大抵の人がちゃんとやっていることが、なぜこんなに難しいのか、自分でも分からないのです。」

事例② 彩さん

彩さんは、強い気分の落ち込みと希死念慮を訴え、受診しました。何回目かの診療の際、赤ちゃん（結衣ちゃん）と夫の翔さんにも一緒に来てもらいました。

待合室で、結衣ちゃんが何かを訴えるように手足を動かしています。「おなか为空いていますか？ ミルクのお湯をご用意しましょうか？」と助産師が声を掛けると、翔さんは、「ああ、あと15分後なんで、まだ大丈夫です」と答えました。彩さんは無表情のままです。

結衣ちゃんは15分待てず、次第に強く泣き始めました。翔さんは、泣いている結衣ちゃんには関心がないようで、雑誌を読み続けています。ぴったり15分後、翔さんは雑誌を置いて立ち上がり、無表情で結衣ちゃんにミルクをあげ始めました。

しかし、ソファに座って結衣ちゃんの脚だけを自分の膝にのせ、その上に雑誌を置き、左手に哺乳瓶、右手に雑誌、翔さんの視線は雑誌の上です。翔さんは哺乳中の結衣ちゃんがむせていることにも気が付きませんでした。そして、結衣ちゃんの様子ではなく、空になった哺乳瓶を見て、翔さんは「よし、終わった」と言いました。

この2人の困り事を、自閉症スペクトラム障害の特性に沿ってアセスメントしてみましよう。お分かりのように、彩さんの事例では、これに該当するのは翔さんです。

- ・成美さんも翔さんも、赤ちゃんの様子からメッセージを読み取ることをしない。面倒なのでしないのではなく、伝わってくるものを受け取ってやり取りするという発想そのものがなく、赤ちゃんのメッセージをキャッチできていないようである。
- ・赤ちゃんの様子に合わせて、計画や対応を変えるのが苦手ようである。そのため、一つひとつの赤ちゃんのお世話から問題が生じ、困難が大きくなっている。

妊娠期から産後には、赤ちゃんと自分自身の日々の身体的・心理的变化を感じながら、微妙に調整を行い、予定やこれまでのやり方を変えたり、周りに助けを求めたりするスキルが必要になります。

ところが、発達障害の特性により、相手の気持ちを汲み取るのがもともと不得手で、表情やしぐさを通して赤ちゃんを理解することがとても難しい人がいます。また、決められたとおりのやり方を変えられず、ほんの少し順番を変えるだけでできなくなってしまう人もいます。

さらに、発達障害の特性を持つ人は、自分の感情を表現することも不得手で、こころの内の感情と表情での表出や目に見える行動と

が必ずしも一致しないことがあります。決していい加減にやっているわけでも、子育てに向き合っていないわけでもないのに、見た目の行動が伴わないので、周囲には理解されません。

結果として、「自分は育児のスキルがない」と苦しんでいることが多くあります。そのような気持ちにも共感しつつ、自尊心を損なわないようなかわりが必要と言えます。

後編では、明日の臨床で実践できる、発達障害の特性を持つ人への具体的支援について述べていきます。

引用・参考文献

- 1) e-Gov：発達障害者支援法（平成十六年法律第百六十七号）
https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=416AC1000000167（2019年10月閲覧）
- 2) American Psychiatric Association 著，高橋三郎，大野裕監訳：DSM-5精神疾患の分類と診断の手引，医学書院，2014。
- 3) 東京都福祉保健局：発達障害者支援ハンドブック2015，第1章 発達障害を理解しよう
http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/shougai_shisaku/hattatsushougai.files/dai1.pdf（2019年10月閲覧）
- 4) Biederman, J., Faraone, S. V., Spencer, T. J., Mick, E., Monuteaux, M. C., Alardi, M. (2006). Functional impairments in adults with self-reports of diagnosed ADHD: A controlled study of 1001 adults in the community. J Clin Psychiatry, 67 (4), 524-540.
- 5) Kessler, R. C., Lane, M., Stang, P. E., Van Brunt, D. L. (2009). The prevalence and workplace costs of adult attention deficit hyperactivity disorder in a large manufacturing firm. Psychol Med, 39 (1), 137-147.

母乳哺育と乳房トラブル 予防対処法

乳房ケアのエビデンス

立岡弓子
滋賀医科大学 医学部 看護学科
母性看護学・助産学分野 教授

妊産婦の疑問・悩みに答える

日総研

B5判 2色刷 一部カラー 192頁
定価 3,619円+税

産後著しく変化する乳房トラブルに対応！
乳房ケアの基礎から母乳哺育、メンタルケアまで
**妊産婦の疑問・悩みに答え、
安心のケアを実践できる！**

日ごろのケアの理由や間違いに気づき、
母親教室・保健指導などに使える！

立岡弓子 滋賀医科大学 医学部 看護学科
母性看護学・助産学分野 教授

詳しい目次は 日総研 601646 検索



主な内容

- 産褥期乳房ケアの助産師の考え方
- 乳房ケアとエビデンスの必要性
- 乳房の理解
- 乳汁産生・乳汁分泌の理解
- 女性の健康問題と母乳栄養
- 母乳哺育の開始と看護
- タンDEM授乳
- ハイリスク新生児に対する母乳の理解と看護
- 乳汁の保存
- 乳房トラブルへの対処方法
- 母親のメンタルヘルスと母乳哺育
- 母乳哺育の終了と看護～卒乳と断乳